

令和元年度 墨田区立吾嬬立花中学校 経営報告書

令和2年3月27日

学 校 目 標	<p>生きる力（確かな学力 豊かな人間性 健康・体力）」を確実に育み、知徳体、調和のとれた人間を育成するため、目指す生徒像として、以下を定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで学び、深く考え、行動できる生徒 ・誠実で、思いやりのある生徒 ・自らきたえ、心身ともに健やかな生徒
目 指 す 学 校 像	<p>『文武両道』を掲げ以下の4点を中心に教育活動を展開し、「明るく活発で、かつ、けじめのある学校」を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①「学力向上」を図る授業改善 ②「自主自律」を育む生活指導 ③「自尊感情」を育む学校行事・部活動 ④「地域への愛情」を育む連携行事
目 指 す 子 供 像	<ul style="list-style-type: none"> ・学習や様々な活動に意欲的に取り組み、目標に向かって努力する生徒 ・社会のルールを理解し、規範意識を身に付け、社会に貢献しようとする生徒 ・人の立場を理解し、協調性のある生徒 ・心身を鍛え、思いやりのある生徒
目 指 す 教 師 像	<ul style="list-style-type: none"> ・広い視野に立ち、組織的に行動できる教師 ・互いのコミュニケーションを大切にし、教育目標を達成しようとする教師 ・研修に励み、自己の授業力向上を目指すとともに、指導教諭等の授業を参考に、授業改善に努力する教師 ・校内OJTを日常的に実践し、研鑽に励み、自己の能力と資質の向上に努める教師 ・生徒一人一人の気持ちを理解し、どの生徒にも公平に対応できる教師 ・保護者・地域の願いや思いを理解できる教師 ・いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない毅然とした態度で指導できる教師

様式 4

1 自己評価結果と学校関係者評価の状況

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
各教科等指導	学校は、子供に確かな学力を育てるために、分かりやすい授業の実施に努めているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 電子黒板・iPad・等のICT機器を効果的に活用する。 家庭学習習慣を確立させる。(家庭学習課題の作成と指導) 学習内容の定着を図る。(振り返りシート等の有効活用) 朝読書を継続する。(毎朝15分全教職員による黙読指導) 授業規律の徹底(「吾嬬立花中学校の授業」の提示と全教職員による実施) 		
	学校は、特別な支援を必要とする子供に対して、組織的に適切な支援を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 個別の指導計画をゆうあい教室および家庭と連携を図り作成する。(学校生活支援シートや連携型個別指導計画に沿った支援の共通理解と実践) 生徒理解に基づき教員間での共通理解を図る。(随時校内委員会の随時開催) スクールソーシャルワーカーを積極活用し連携を図る。 必要に応じて関係機関と連携を図る。(子育て支援センターや児相と適宜連絡相談) 		
	学校は、子供の将来の自立に向けた進路指導・相談活動に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 三年間を見通した進路指導の確立を図る。(職業調べ、職場体験、上級学校等訪問の実施、課題解決学習の実施・情報教育の実施) 		
	学校は、教員の指導力・授業力を高めるために組織的に取り組んでいるか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 研修部を軸として計画的な校内研修会を実施とともに、研修内容の充実を図る。 祖教員相互の授業見学と指導教諭による模範授業の見学を奨励する。 生徒による授業評価の結果を踏まえて、授業の工夫・改善に取り組む。 		
	学校関係者評価委員会の意見等				

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
生活指導等	学校は、子供の問題行動の予防や解決に組織的に取り組んでいるか。	A	<ul style="list-style-type: none"> いじめ・暴力・暴言等に対し、不適切な指導や体罰を伴わない的確な指導を実践する。(生徒アンケートの実施による未然防止と早期発見および解決) 休み時間も含め全教員による生徒の見守りを継続する。 		
	学校は、子供が基本的な生活習慣を身に付け、望ましい人間関係を作るための心の教育を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 基本的な生活習慣(あ・じ・み・そ・返事)と規範意識を醸成する。(早寝・早起き・朝ご飯の推奨) 遅刻防止やチャイム前着席の励行と環境整備を進める。 休み時間を情操教育の場として活用する。(クラシック音楽の放送) 		

様式 4

	学校は、子供の安全を確保するための取組を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 安全指導計画を作成し、学校安全活動の組織的推進と危機回避能力を育成する。(毎月の安全指導・避難訓練の実施、セーフティ教室等の開催) 日常的に校内巡視(目視による点検)を実施する。 休み時間も含め全教員による生徒の見守りを継続する。 		
	学校は、子供や保護者からの意見や要望を把握し、教育活動の点検や改善に役立っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 日常的に地域やPTA等とのつながりを通して情報を収集し、敏速で丁寧な対応を図る。(PTA・育成委員会への参加、学年懇談会、部活動保護者会。担任等によるきめ細かな家庭連絡) 教育相談を組織的に行う。 生徒による授業評価を実施する。 学校関係者評価を実施する。 行事や学校公開等でアンケートを実施する。(学校経営へ反映) 		
	学校関係者評価委員会の意見等				
項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
学校の管理運営	学校は、管理職の経営方針に基づき、組織的な教育活動・学校運営を行っているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 毎朝の主幹会(校長・副校長・主幹教諭)で課題や対応を明らかにし、運営委員会と職員会議等で確認することで組織的な学校運営を実施する。(学校経営方針および学校経営計画の提示と共通理解) 教職員全員の打ち合わせと学年打ち合わせを毎朝実施し、課題の共通理解と指導方針の確認を行う。 		
	学校は、子供の実態に合わせた具体的な目標の設定及び評価を適切に行っているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> 生徒による授業評価を実施し、結果を踏まえて教育活動の工夫・改善に取り組む。(アイチェックの活用、授業改善プランの作成と実施) 適切な評価計画を立て、公正な評価方法に努める。(説明責任を果たす準備) 		
	学校には、適切な教育活動が行える環境・設備等が整えられているか。	A	<ul style="list-style-type: none"> 施設設備の安全点検を定期的に行う。 補修や修理が必要な箇所に迅速に対応する。 清掃担当箇所を中心に、教育環境の美化に努める。(校内緑化と整理整頓された教室環境の維持) 学校予算および私費会計を適正に執行する。(事務主査を中心とした適正執行、管理職等による確認) 		
	学校関係者評価委員会の意見等				

様式 4

項目	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善策	自己評価について	改善策について
家庭・地域連携	学校は、教育方針や日常の教育活動の様子などを分かりやすく伝えているか。	B	・「学校だより」・「ホームページ」・「配信メール」等を活用し、情報を積極的に発信する。(定期的な発行と紙面の充実、適切な学校情報メールの配信)		
	学校は、保護者や地域の理解や協力を得て教育活動を進めているか。	B	・ P T A 活動に積極的に参加し、保護者との意思疎通を図っていく。 ・ P T A ・ 育成委員会 ・ 関連小学校との連携を強化し、学校行事のレベルアップと地域行事への積極的な参加を实践する。(運動会、文化祭、合唱コンクール、学校公開、挨拶運動、地域祭礼、P T A ・ 育成委員会主催行事、餅つき)		
	学校関係者評価委員会の意見等				

2 令和元年度学校評価のまとめ

<ul style="list-style-type: none"> 生活指導面（授業規律を含む）では保護者や地域から一定の評価を得ており、日常的に落ち着きのある教育環境が維持できている。生徒理解に基づいた教育活動の推進と、新校開校から続けている取組（朝読書・チャイム前着席の励行・全教員による給食指導・休み時間の生徒との教育相談や見守り・各学級二名体制での学級活動等）が成果をあげているものとする。 学習面では、授業における I C T 機器（電子黒板・ i P a d ・ 実物投影機・タブレット型 P C 等々）の活用が浸透してきているものの、学力諸調査の結果からは、学力向上に結び付いていないという課題がある。学習規律の徹底・土曜授業・放課後学習教室等の実施に加えて、既習内容を定着させるための組織的な取組が必要である。
--

以上の通り報告いたします。

墨田区立 吾嬭立花中学校長 池田 伸彦 公印